

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもが快適に安全に過ごせるように配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内は全て段差がない構造になっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施や保護者との面談で意向を確認しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			園内研修や外部研修への参加を行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談でニーズを聞き取り、サービス支援会議を開き、放課後デイサービス計画、評価を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			臨床心理士が行う発達評価(新版K式、WISC)を参考に、スタッフ間で子どもの状況を共有しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフ間で活動内容を決め、検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間で活動内容を計画し、固定化しないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			支援開始前に個別の課題についてスタッフ間で話し合い設定しています。長期休暇に保護者を交えてクッキングなどの特別なプログラムも行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に合わせて、個別・集団に分けて支援を行い、計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を確認し、決めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後も必ず振り返りを行い、適切な支援が行われたか、また今後に向けての方針等検討しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			振り返り後スタッフ各々が記録し、グループのリーダーが確認を行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回は必ず計画の見直しを行い、必要に応じて保護者と面談を行いながら、放課後デイサービスの評価、作成を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて学校との情報交換を行い、子どもの状況を共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医師からの指示(処方箋)のもと、個別のリハビリプログラムを実施しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			引き継ぎを行ったり、必要に応じて情報の共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当するケースがなく実施していません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達支援センターが園内にあり、密な連携を取ることができます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	個別のリハビリプログラムを実施するケースが多く、交流の機会は設けていませんが、通園児の兄弟姉妹と交流する機会があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援の内容や活動時の様子を毎回保護者と一緒に振り返りながら、発達の状況や課題について確認しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要に応じ個別の面談を実施し、子どもとの関わり方などのアドバイスをしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前に重要事項説明書や契約書の説明を通して、運営規程、支援内容、利用者負担について伝えています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時相談に応じています。必要に応じて医療機関を勧めたり、福祉サービスの利用等の説明を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会はありませんが、茶話会を開催し、保護者間の連携を支援しています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			入口に文書を掲げています。苦情対応窓口も記載してあります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年間の予定表を年度当初に配布しています。毎月おたよりを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			職員会議等の場で、守秘義務の厳守を徹底するよう確認しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて視覚的にわかりやすいように紙に書いたり、絵カードを利用して情報伝達をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	リハビリ目的の支援を求めるケースが多く、地域との交流は行っていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを策定しています。また、自発管が虐待について研修を受けスタッフに伝達講習を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束という対応を取ることはなく、子どもの状況に応じて人員配置を整えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示を保護者に聞き取りながら、全スタッフで共有して対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			